

Be the Inspiration



第2780地区
大磯ロータリークラブ



インスピレーションになろう

2018～2019年度RI会長
バリー・ラシン

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県平塚市豊原町22-13 TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：第1・第3・第5 木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281
会長 守屋 紀忠 会長エレクト 石山 智司 幹事 大藤 勉

第2444回

例会

平成30年8月23日 No.4

■司会：桜川 誠

■点鐘：守屋 紀忠

■合唱：手に手つないで

◇プログラム・8月30日：フォーラム・9月6日：理事会、フォーラム・9月16日：ガバナー補佐訪問

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メイクアップ	修正出席率
2444回	14(12)	7	58.33%	—	—
2442回	14(12)	9	75.00%	—	—

◇欠席者(5名)

原、太田、田中、石山、伊丹さん

◇メイクアップ(0名)

◇ゲスト：瀬戸享一さん(会員候補者)

新宅会員のお誘いで出席されました。

◇出席報告：百瀬恵美子委員

◇会長報告

守屋紀忠会長



8月は果樹の摘果作業があります。蜜柑が余り着きすぎると子沢山で小さな蜜柑になってしまう。ある程度の粒にするために落とします。他のリンゴ、梨にしても同じ事です。特にリンゴや梨は一つの房/芽に6~7つも花が咲きますので一つにしなればな

りません。大変な作業です。この作業を8月にやったら、台風を察知する能力というか蜂の巣＝雀蜂のような大きな蜂は地下や木の洞、天井裏などに作るんですが、それは変わらないんですが小さな蜂は探知能力があるらしく、今年は棟から下、少し屈んだくらいの高さに巣がありました。そしたら8月に台風が8回＝日本全国に＝も来た。関東は余り雨が降らなかった。水害による巣の災害はないとみて蜂はその高さに巣を作った。普通は目の高さくらいに作ります。昨年は高いところに巣があった。自然界の生物の察知能力というのはすごいもんだと改めて今回思いました。8月が終わらぬうちに8回の台風が来た。7月終わりに12号、現在20号が発生している。もう1回か2回来るかも知れない??と今年は自分の作業から感じました。

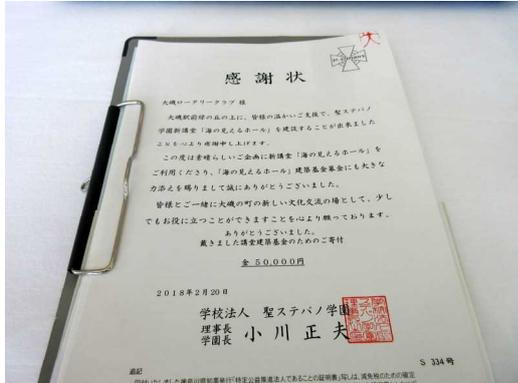
1. 理事会報告：

(1)財団月間(11月)、米山月間(10月)の卓話派遣依頼の通知あり。米山月間はイスラム君に要請してエジプトの話再度聞きたい。

(河本担当)

(2)今期から例会食事を12時から始めていますが、

その感想を話し合い未だ2ヶ月なのでもう少し続けてからと言う事になり、当分このままで行きます。
 (3)宿場まつりの件:前年度通りでやる。落語家(桂歌助)を招く=井上担当=。協賛金3万円。その他経費4万円をスマイルボックスから拠出します。
 2. 聖ステパノ学園小川理事長から寄付の感謝状が来ていますので回覧します。



3. 新宅さんによると、今日お見えの瀬戸さんが気持ちよく入会のお気持ちを持っておられると理解しております。(全員:よろしく、お待ちしております)

◇幹事報告

大藤勉幹事



回 覧 :

1. 地区大会
日 程 : 10月14日 (日)
場 所 ; 茅ヶ崎市民文化会館
2. ハイライトよねやま
3. 米山梅吉記念会館の賛助会員の募集案内
4. 小諸RCからクラブ計画書と会報

◇委員会報告 :

☆スマイルボックス 新宅文雄さん

- ・ 守屋紀忠さん : 新宅さん、卓話よろしくお願ひします。瀬戸さんようこそ。
- ・ 百瀬恵美子さん : 瀬戸様 ようこそ 大磯RCにおいて下さいました。楽しんで下さいね。新宅さん卓話楽しみです。
- ・ 新宅文雄さん : 瀬戸さん紹介します。よろしく。

☆河本親秀さん :



我々が支援している原貫太君創立のNP0法人コンフロントワールドでインターンシップ中の亀ヶ川愛さんからウガンダでの活動報告をメールで受け取りましたので報告します

【インターン・亀ヶ川愛より】

コンフロントワールドを支えてくださる皆さま、こんにちは。コンフロントワールドでインターンシップをしている亀ヶ川愛です。私は7月の半ばからウガンダに渡航しています。私個人としましては、初めてのアフリカ大陸への渡航です。この度は、私が今活動している状況について、詳しく述べさせていただきます。

＜ウガンダで感じている事＞

ウガンダに来る前と、来てから、ウガンダに対するイメージと考え方に大きな変化がありました。渡航前は、「貧困やその他現地の人々が抱えている問題にはどんな要因があるんだろう」、「そこに対して私は何が出来るんだろう」そう考えながら飛行機に乗りました。しかしウガンダの地に降り立ってから、問題を感じるよりもまず、様々な困難を乗り越えて生きる現地の人たちのエネルギーに圧倒されました。仕事や収入があるかどうか、おしゃれや贅沢が出来るかどうか、日本社会での暮らしとウガンダ社会での暮らしは一概に比較は出来ませんが、「問題や壁を乗り越えようと頑張る」「生活の中で楽しみを見出す」もっとシンプルに言えば「精一杯生きる」という点においては、むしろウガンダの人たちの方が私よりも上手に、若しくは力強く生きているのかもしれない、そう感じました。今もそう感じています。そして特に、「環境を変えたい」、「社会に変化を起こしたい」、そういう思いで頑張ろうとしている現地の人たちに出会う度に、尊敬の意と、何か力に

なりたい、この人たちから学びたい、そう感じています。

＜ウガンダで行っている事＞

ウガンダでは主に、現地NGOを訪問し活動を視察させて頂いたり、昨年に引き続き現地NGOを通じて南スーダン難民人道支援を行ったりしています。南スーダン難民人道支援につきましては追ってご報告させて頂きます。今回は、現地NGO訪問についてお話しさせていただきます。

私が今回訪問しているNGOは首都カンパラから南西へ、車で2時間程のブタンバラ県という地域で活動をしています。

ブタンバラ県は、カンパラと比べ緑が豊かで新鮮な農作物が多く売り買いされている穏やかな地域です。道路や街の発展が進む一方で、人口125,000人の内の70,000人が貧困とされ、その20%が孤児や立場の弱い子ども、シングルマザーです。貧困の背景には、衛生環境、教育機会、HIV、宗教観、等複数の要因が複雑に絡み合っています。

今回訪問したNGOは、“孤児や弱い立場に置かれた子どもたちが自身の可能性を十分に発揮して暮らせる社会”を目指し、ブタンバラ県で上記の課題に多角的に取り組んでいます。例えば、団体設立当初から主に行なっている水と衛生分野での支援に加え、学校に行けない若しくはドロップアウトしてしまった女性たちへの就労支援、ドメスティックバイオレンスや子どもの人権についての講習等を行っています。

私は今回の渡航のおよそ半分をブタンバラ県で過ごしています。また、他のメンバーも渡航した際に一緒にNGOのオフィスや活動地を訪問しました。その中で、

- ・このNGOが常に活動地のコミュニティと物理的にも精神的にも近くあることを大切に、熱く真剣な想いで活動している点
- ・コミュニティの人たち、県庁や行政機関の人たちからも信頼させている点
- ・このNGOと一緒に活動する事で、一人でも多くの貧困のスパイラルから抜け出せずにいる人たちの“自律の後押し”が出来る！

と強く感じました。そしてこれらを踏まえ、コンフロントワールドはこの現地NGOと協力し、衛生環境という点からブタンバラ県及びウガンダ中部でプロジェクトを始める運びとなりました。

コンフロントワールドのスタッフが現地に駐在し

ない形でミッションを遂行する方法として、今回から新しくプロジェクトが動き出します。まだまだ手探りで、どんな困難があるのかも明確ではありませんが、少しずつ、小さいけれどもしっかりと、“不条理の無い世界の実現”に向かって前進して行きます。

今後とも、皆さまと一緒に歩いていけたらと思います。

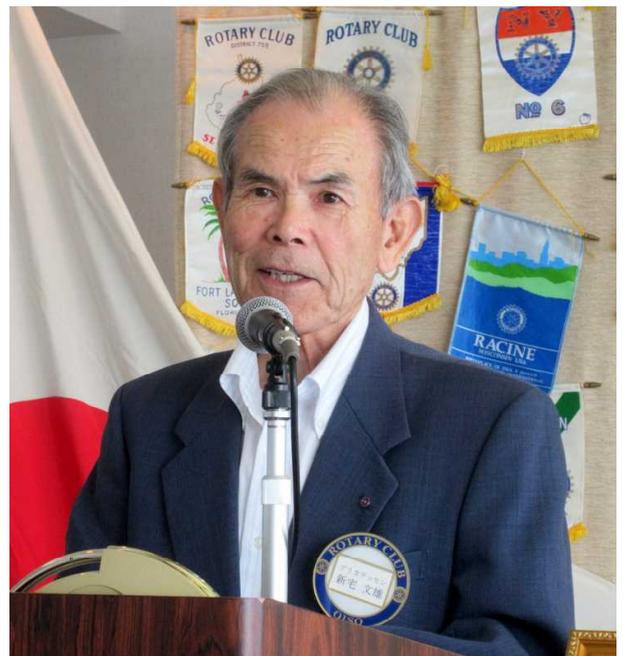
よろしくお願い致します。

私自身、内戦のために貧困状態に追い込まれた人達は現状を嘆きそれは環境の所為、他の所為と恨みに思い、後ろ向きの生活をしているものと思いましたが、そうではなくて前向きに精一杯生きていると聴いて感動し、私が終戦直後ゼロからスタートした時の同じような心理状態を思い出してしまい、長くなりましたが報告させて頂きました。

以上

◇ 卓話

新宅文雄さん



新興商事（株）の洋風惣菜店＝「デリカステーション味工房店」は売上は採算基準値以上あり、お客様やハローワークからも惜しまれ、テナント契約期間満了となるも、再契約を望まれていたが、諸般の都合で(今月)退店する事になった。

今後の新宅の職業分類は不動産賃貸業でしょうか？

(注:現在はデリカテッセン)

瀬戸さんも来てくれましたので、本日は大磯ロータリークラブ入会前後からの自分の経過をお話させて

頂きます。

1972年7月：新興商事（株）を設立、代表取締役役に就任（ハムソーセージ専門店として創業）伊藤ハムショールーム湘南

1976年～はハムソーセージのギフトの全盛時代

1985年5月：新興ビル建設

1988年6月：大磯ロータリークラブ入会

1996年7月：河本親秀ガバナー年度

地区副幹事

1997年7月：大磯ロータリークラブ会長就任

小諸ロータリークラブと姉妹クラブ提携

1999年5月：大磯町商工会副会長

1997～・大磯町下水道研究会委員、

- ・大磯町商工業活性化対策協議会会長
- ・大磯町商業活性化検討チーム委員
- ・大磯町水産業振興と大磯港活性化検討委員会委員
- ・大磯港再整備基本構想策定委員会委員
- ・大磯町まちづくり審議会委員
- ・大磯町社会福祉協議会評議員
- ・大磯町自治基本条例策定委員会委員、

2001年 04月：平塚法人会副会長、

2010年12月：大磯町姉妹都市協会会長、

2011年07月：大磯ロータリークラブ会長

チャリティーコンサート

アントニオ古賀ステパノ学園寄付

2016年07月：百瀬会長年度 大磯ロータリークラブ

創立50周年記念実行委員長

大磯町へ青色点滅自動車寄贈

2017年07月：大磯ロータリークラブ会長

2018, 3, 11チャリティーコンサート＝東日本大震災遺児・孤児支援NPO「ふくしま震災孤児・遺児をみまもる会」へ寄付(第8G7クラブ協力事業)ご静聴有難うございました。



編集者コメント：上記頂いた原稿は年表風ですが、新宅さんはご夫婦協働で経営を発展させてこられた奥様が病に倒れたれて12年間、看病をされながら経営を継続されてきた苦しい時代も回顧されながら、淡々と語られ、感銘を受けました。

以上

桜川こなつさん

秦野青年会議所「高校生議会」の議長に

(神奈川新聞8月22日朝刊に掲載)



秦野青年会議所が選挙権年齢が18才に引き下げられた事を受け、高校生の意見を市の施策に生かそうと8月21日「秦野高校生議会」を開催し、公募で選ばれた高校生男女11名の中から桜川さんのお嬢さんの”こなつ”さん(県立平塚江南高校2年生、5月27日の我がクラブの大磯海岸美化キャンペーンに参加されました)が選ばれ議長を務められました。選挙、教育、地域活性、防災の4委員会に分かれて討議され、「SNSを利用する若者の力を観光PRに活用しては?」、「高校生災害支援ボランティア団体を設立して貰いたい」等の質問や提案が行われ、市の幹部が答弁に立ち十分検討すると答えました。桜川さんは「市議会の仕組みがよく分かった」と話されていたとの事です。

桜川こなつさんに拍手!!!

左から
こなつさん
お父様の
桜川誠会員



2018年5月27日(日)

大磯海岸美化キャンペーンに参加